



東根市立第三中学校グランドデザイン

(令和6年度版)

学習指導要領
山形県6教振
(7教振)
東根市の教育

- 1 学校教育目標 「自信と誇りを培う教育の推進」～ 感性と学力、そして感動 ～
- 2 めざす学校像 「活力に満ち、笑顔が輝く学校」
- 3 めざす生徒像

(1) 知性：	めあてを持ち、自ら学ぶ生徒	(知)
(2) 感性：	利他の心を持ち、自ら判断する生徒	(徳)
(3) 品性：	調和のとれた体を持ち、自ら行動する生徒	(体)

生徒の実態
保護者の願い
地域のニーズ

【キーワード】「授業で確かな力を・授業で集団づくりを・授業で夢を」
「自分・仲間・三中とふるさとを大事に」

重点 ○社会を生き抜く確かな学力の育成 ○担任力の向上 ○夢を育む学校の創造

定常

『成長戦略』

縮充

効果を確認するための日常の検証

P 経営プランのベクトル合わせ

目的、目標の共有化・焦点化
(重点を絞る、コンセンサス重視)

D 検討しながら実行

(スクラップ&ビルド)

A 分析と新プラン

(発想と提案)

C 評価・アンケート

(生徒・保護者・地域・職員の意見)

ゆとり創造成長戦略

●令和7年度、勤務時間内の部活動終了実現のための教育課程(日課)の見直し

●下校時刻の固定(年間を通して部活動後の下校時刻は17時40分厳守)

●熟考された会議資料の事前配付

※EPデイ=「エンパワーメント充電デイ」の略
生徒も教師も自分の持つよさを伸ばす時間の確保。
午後の活動なしの日

学力向上成長戦略

- 学習サイクルの習慣化
(「ほっとノート」活用)
- 少人数授業の充実
(数学・英語で発展実施)
- 読書活動の推進
- ICT活用による定着
- 本物・体験的な授業の継続
- 横断的カリキュラムの発想

社会力・人間力成長戦略

- 生徒主体の生徒会活動
(リーダー育成)
- ウェルビーイングの実現をめざし、3年間を見通した総合的な学習の時間の充実
- 部活動の質の向上
任意加入制実施 地域移行を視野に
- 地域行事への積極的参加
- 幼保小との連携

環境改善成長戦略

- 清掃活動の充実
- 校内を明るくする創意工夫
- 校内緑化の推進

教師力向上成長戦略

- 危機管理意識の重視
(「心配だから」の視点：未然防止・早期対応・再発防止)
- 人権教育の推進
- 研修会の活性化
(授業改善、生徒指導、特別支援教育、危機管理等)
- 運営委員会の機能化

地域連携成長戦略

- 令和7年度からのスタートする学校運営協議会の設置準備
- 地域への情報発信
(学校だより発行・HP更新)
- 同窓会・歴代PTA会長会、愛林公益会との連携
- 民生児童委員との情報共有

安全・安心向上戦略

- 命を守る活動の習慣化
(健康カードによる状況把握)
- マ・メール活用による情報共有
- 外部関係機関(病院等)と連携

経済成長戦略

- アルミ缶回収の継続
- 未来志向のボランティア活動

「しこたん校友会(東根市立第三中校区連携事業)」で9年間を見通し骨太の人間力(自立と社会貢献する力)を育成

- 小中連携事業
- 教育課程部会
- 小小連携事業
- 学力向上対策事業
- ・高崎地区だんご運動会運営協力
- ・コスモス植栽事業
- ・生徒指導連絡協議会
- ・6年生合同事業
- ・新入生説明会

カリキュラム・マネジメント

⇒ 懇切丁寧計画 + 一石二鳥計画

○英語科、数学科の「習熟度別少人数授業、チームティーチング」

1クラスの授業を複数の教師で担当(例:生徒自身が基礎コースか発展コースを自己選択し少人数クラスを編成)

○特別支援学級における「インクルーシブ教育推進」

個別の生徒の教科特性を踏まえて、集団型の指導と個に応じた指導を柔軟に実施

○生徒の資質能力向上を目指した教科横断型・体験実感型「特別授業の企画」

※年度始め計画:中止・追加あり

文化体験講座(文化祭) / プログラミング教育(技術・総合) / 保育実習(3年家庭) / 和菓子づくり(3年美術・家庭) / 魚の三枚おろし(1年家庭)

いのちの大切さを学ぶ教室(道徳・総合) / 地域の魅力発見教室(社会・英語・総合) / そうじに学ぶ会(ボランティア)

○「学習の悩みに応える教育相談」「心の悩みに応える教育相談」の日常化